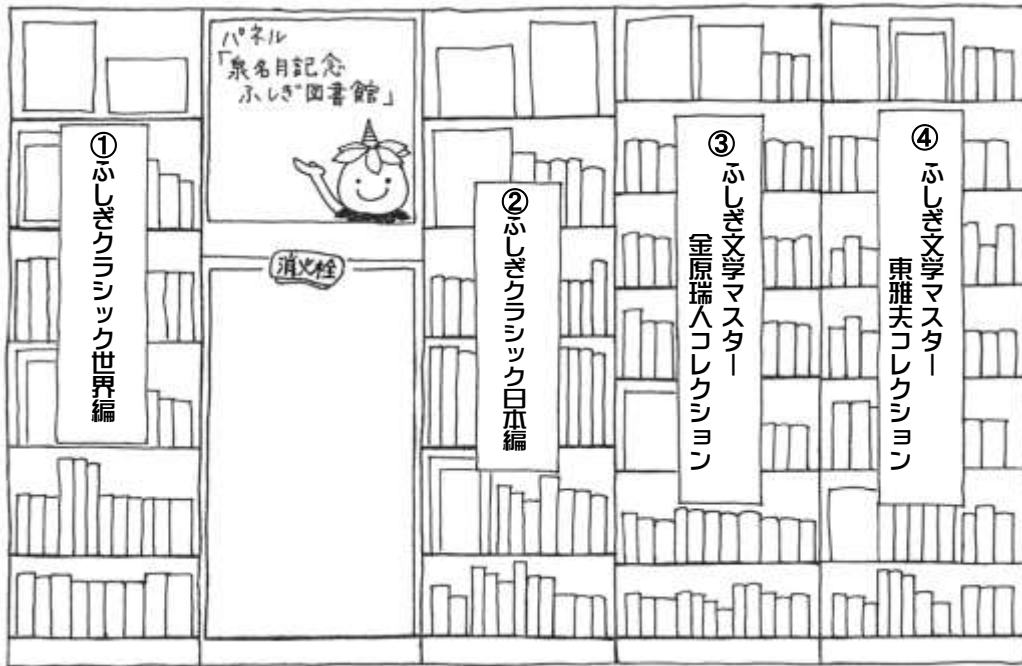


泉名月記念 ふしぎ図書館

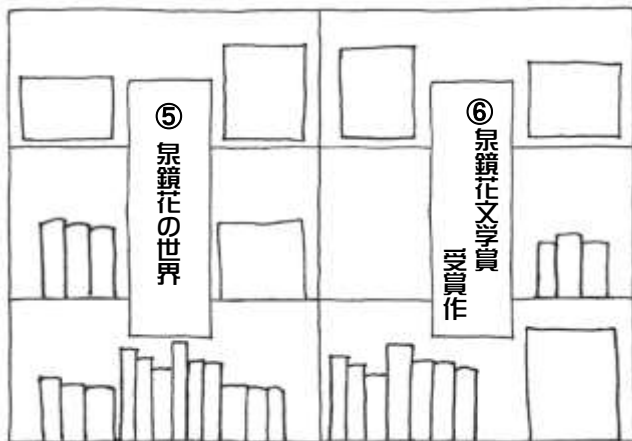


① ホラー、ファンタジー、ゴシックほか、世界のふしぎを集めたコーナー

② 幽霊、妖怪、怪談ほか日本のふしぎを集めたコーナー

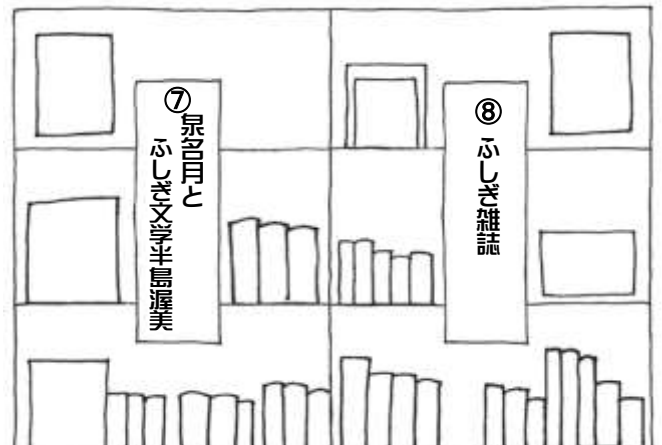
③ 幻想文学、怪談文学に造詣が深い“ふしぎ文学マスター”金原瑞人さん（翻訳家・大学教授）による極上の100冊を集めたコーナー

④ 幻想文学、怪談文学に造詣が深い“ふしぎ文学マスター”東雅夫さん（アンソロジスト・編集者・評論家）による究極の100冊を集めたコーナー



⑤ 幽玄華麗な鏡花の世界によろこ！全集、入門書、研究書まで揃っている鏡花コーナー〈選定協力〉田中励儀さん（同志社大学教授）

⑥ 泉鏡花生誕百年を記念し、生誕地“金沢”で制定された「泉鏡花文学賞」。その受賞作を集めたコーナー



⑦ 泉名月や郷土に縁の深い作家の作品ほか、郷土のふしぎを集めたコーナー

⑧ ふしぎ好きにはたまらない…「幻想文学」「幽」「冥 Mei」など、ふしぎ雑誌を集めたコーナー

「泉名月記念ふしぎ図書館」とは

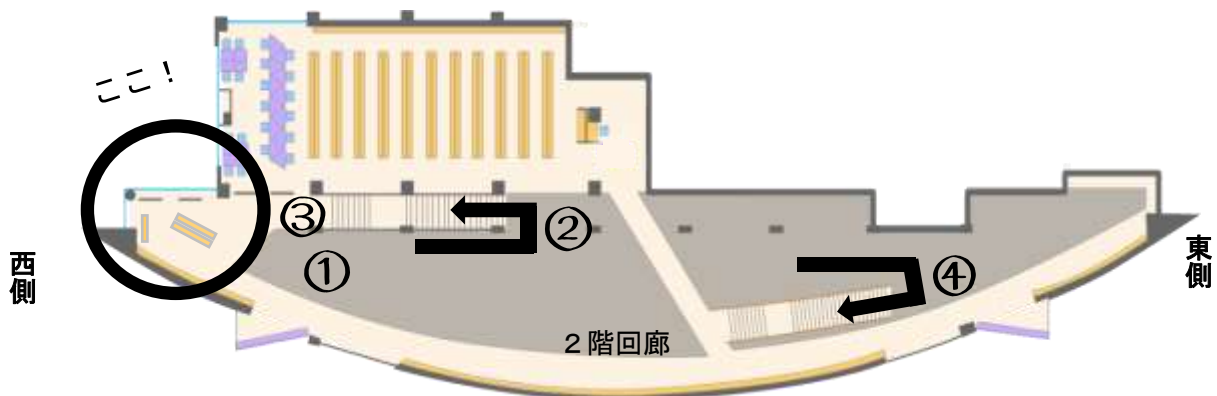
田原市出身の作家である泉名月（1933～2008）は、日本の幻想文学に多大な影響を与えた泉鏡花の姪、鏡花の妻すずの養女であり、鏡花文学の普及と研究の発展に尽力しました。ここに、その名を冠した「ふしぎ図書館」を開設し、泉鏡花をはじめとする幻想文学の世界を紹介するとともに、様々な不思議に彩られた渥美半島の魅力を発信します。

いずみきょうか

泉鏡花（1873～1939）

金沢生まれ。本名は鏡太郎。尾崎紅葉に師事。明治半ばから昭和前期にかけて活躍した小説家、劇作家。三百編あまりの作品を生み出し、明治以後の文豪の一人として称えられる。ロマンと幻想の世界を紡ぎだし、多くの傑作を残す。
代表作は、「高野聖」「天守物語」「婦系図」など。

2階案内図



- ① 中央図書館入口の「中央カウンター（貸出・返却）」から「レファレンスカウンター」（インターネットコーナー近く）に向かいます。
- ② 「レファレンスカウンター」の前の階段を2階へあがります。
- ③ 階段をあがると、目の前（2階回廊西側）が「ふしぎ図書館」のコーナーになります。
- ④ 「視聴ブース」前の階段を2階へあがると、左手に回廊書架が並んでいます。回廊を西側に進むと、突き当たりが「ふしぎ図書館」のコーナーになります。